



平和首長会議ニュース

2019年4月 / 第112号

平和首長会議加盟都市数
163 か国・地域 **7,744** 自治体
日本国内加盟自治体数：1,732
(2019年4月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

◆ウェブサイト:

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

◆フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

「いいね！」をお待ちしています。

<<今号の内容>>

- ◆平和首長会議のプロモーションビデオを制作・公開しました
- ◆第9回平和首長会議国内加盟都市会議総会の開催について
- ◆第10回平和首長会議総会について
- ◆平和首長会議メンバーシップ納付金にご協力をお願いします
- ◆「子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト」— 各地で授賞式が行われました
- ◆広島平和研究所が紀要『広島平和研究』第6号を発行
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- ◆平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています
- ◆平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組の実施にご協力ください
- ◆被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
- ◆「ヒバクシャ国際署名」への平和首長会議の賛同・協力について
- ◆3月の平和首長会議会長訪問
- ◆平和首長会議加盟自治体数: 163 か国・地域 7,744 自治体

■平和首長会議のプロモーションビデオを制作・公開しました

平和首長会議では、加盟都市と共に行っている様々な取組に対する認知度を高めることにより、加盟・協働の促進を図るため、プロモーションビデオを制作しました。動画共有サイトYouTube(ユーチューブ)において、3月29日に英語版の配信を開始し、続いて本日4月16日、日本語字幕版の配信を開始しました。

平和首長会議会長(広島市長)、副会長(長崎市長)のほか、9人のリーダー都市の市長が、平和首長会議が掲げる「核兵器のない世界の実現」と「安全で活力のある都市」という二つの目標に向けて推進している様々な取組について紹介しています。

貴自治体におかれましても、核兵器のない世界を希求する思いを広げるために、より多くの市民に視聴していただけるよう、ホームページ等で紹介していただくほか、姉妹・友好都市等への加盟要請や市民への啓発行事など、様々な場面で本プロモーションビデオをご活用いただけますようお願いいたします。



◆タイトル: Join us at Mayors for Peace! (Mayors for Peace Promotional Video)

◆URL: (英語版) <https://youtu.be/63FHoYLC4oY>
(日本語字幕版) https://youtu.be/tX_0R5-UTIQ

◆時間: 約10分

=====
■第 9 回平和首長会議国内加盟都市会議総会の開催について
=====

平和首長会議では、国内における取組の充実を図るため、平成 23 年度から毎年度、国内加盟都市会議総会を開催しています。平成 31 年度(2019 年度)の第 9 回総会は、東京都国立市において次のとおり開催します。なお、第 8 回総会(昨年 11 月、於: 高山市)等で 11 月開催予定とお知らせしていましたが、10 月となりましたので、ご理解の上、出席をご検討くださいますようお願い申し上げます。

◆日程・内容・会場

日 程	10 月 24 日(木)	10 月 25 日(金)
内 容	14 時 30 分～ 国立市プログラム 18 時 00 分～ レセプション	9 時 00 分～11 時 15 分 会議
会 場	くにたち市民芸術小ホール (東京都国立市富士見台二丁目 48-1)	ホテル日航立川 (東京都立川市錦町一丁目 12-1)

※エクスカーションの実施はありません。 ※時間は予定であり、変更の可能性があります。

正式なご案内及び出欠確認は、6 月頃に E メールにより行わせていただく予定です。

▼国内加盟都市会議総会のこれまでの実施状況はこちらからご確認いただけます。

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/report/index.html>

=====
■第 10 回平和首長会議総会について
=====

第 10 回目となる平和首長会議総会を 2020 年 8 月 3 日(月)から 6 日(木)まで、広島市で開催します。

被爆 75 周年となる 2020 年は、平和首長会議が被爆者の存命のうちに核兵器廃絶を実現したいと願って 2003 年 10 月に策定した行動指針「2020 ビジョン(核兵器廃絶のための緊急行動)」の目標年次であり、5 年毎の NPT(核兵器不拡散条約)再検討会議の開催年でもあります。

こうした中、2020 年の総会では、同年以降の次期ビジョンや行動計画の策定など、重要な事項を審議することにしていきますので、是非ともご出席ください。

なお、総会期間中の宿泊については、各市での費用負担となりますが、一定数の部屋を事務局から斡旋させていただきます。しかしながら、航空券等については、各市において手配していただくこととなります。折しも、この総会の開催時期は東京オリンピックと重なりますので、航空券等が通常よりも高額となることや入手困難となる可能性があります。旅費等の予算を確保の上、お早目に手配を始めていただきますようお願いいたします。

=====
■平和首長会議メンバーシップ納付金にご協力をお願いします
=====

平和首長会議では、平成 25 年 8 月の第 8 回総会において、今後の活動の活発化と、連帯意識のより一層の強化を図ることを目的に、メンバーシップ納付金制度の導入を決定し、平成 27 年度から 1 自治体当たり年額 2,000 円の負担をお願いしています。

加盟自治体の皆様へは、本年 4 月 1 日付けで請求書等を郵送しております。納付金の納付期限は 6 月 28 日(金)となっておりますので、ご対応のほどよろしく願いいたします。また、納付が困難な自治体の皆様におかれましては、その旨をご連絡いただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお、仮に納付金を負担しない自治体があったとしても、その自治体に離脱を求めることはしない旨、第 8 回総会で決定していますので、そうした場合でも、引き続き平和首長会議に加盟していただき、住民の方々の平和な生活を守るため、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向け共に行動していただければ幸いです。

皆様のご協力をお願いいたします。

▼Email: rentai@pcf.city.hiroshima.jp

▼FAX: 082-242-7452

=====
■「子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト」— 各地で授賞式が行われました
=====

平和首長会議では、昨年度初めて、全加盟都市の子どもたちを対象とした「“平和なまち”絵画コンテスト」を実施しました。世界 14 か国 29 都市から寄せられた 469 点の応募作品の中から 8 点の受賞作品が選ばれ、各加盟都市の市長等による表彰状の授与式が行われました。

受賞した子どもたちが今後も平和な世界を築くために貢献したいという気持ちを持ち続けてほしいと思います。また、周りの子供たちにとっても平和の大切さを考える良い機会になればと期待しています。

今年度も同コンテストを実施する予定ですので、ふるってご応募ください。



▲広島市



▲ロシア・ウリュピンスク市



▲リトアニア・ユルバルカス市



▲ロシア・カザニ市

▼子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト 受賞作品(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort/2018_Poster_Exhibition_result.html

=====
■広島平和研究所が紀要『広島平和研究』第 6 号を発行
=====

[広島市立大学広島平和研究所提供記事]

広島市立大学広島平和研究所は 2019 年 3 月、紀要『広島平和研究』第 6 号を発行しました。広島から「平和」に関する理論研究や事例報告などを幅広く扱う機関誌をめざして 2013 年度に創刊して以来、毎年 1 号のペースで発行しています。

第 2 号以来、巻頭に掲載している「平和研究の窓」と題するエッセイ風評論の筆者は、植木研介・広島大学名誉教授(英文学)です。生後 10 カ月の時に広島市内の自宅で被爆した植木氏は、飛び散ったガラス片により左目を失明しました。その時の記憶はないそうですが、物心ついて以来、原爆への恐怖から長い間いわゆる PTSD(精神的外傷後ストレス障害)に苦しみ、それを克服するのに 50 年かかったそうです。その半生を「ある活動の精神的記録——どこまで行けるか」と題して執筆していただきました。

一方、特集論文は「人権問題」をテーマに選び、「東南アジア各国の人権状況」(英語)「辺野古埋め立て問題」(英語)「在日朝鮮人差別」についてそれぞれ、マレーシア、沖縄、在日朝鮮人の筆者に寄稿していただきました。独立論文は 2 本で、「包括的核実験禁止条約機関(CTBTO)」および「朝鮮半島平和体制」に関する論文を掲載しています。書評は『核実験地に住む』(英語)「沖縄平和論のアジェンダ」について論じたものです。

今回は多様な筆者による多彩なテーマの原稿を掲載できたと思います(英語と書いてないものは全て日本語です)。

広島平和研究所のホームページからは全てのバックナンバーの電子版を見ることが出来ます。

▼紀要『広島平和研究』(広島平和研究所ウェブサイト):

https://www.hiroshima-cu.ac.jp/peace_j/category0013/

(水本和実・広島市立大学広島平和研究所教授)

=====
■ヒロシマ発平和関連ニュース（連載第 54 回）

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]
=====

米国のバラク・オバマ前大統領が「核兵器なき世界」に言及した「プラハ演説」から 10 年がたちました。チェコの首都で 2009 年 4 月 5 日に行われたその演説は被爆地を沸かせ、その後オバマ氏はノーベル平和賞を受賞しました。しかしこの間、米国に核軍縮の動きは見えません。

研究者はこの演説を読み解き、「核兵器なき世界」という理想と、「核兵器が存在する限り米国は核抑止力を保持する」という現実的な内容が半々だと指摘しています。つまり、被爆地は前者を好意的に受け止め、日本政府や米国内の保守派は後者の発言を評価したということです。

この 10 年間には、さまざまな動きがありました。一つは、オバマ氏が原爆を投下した米国の現職大統領として初めて被爆地広島を訪れたこと。そして特筆すべきは核兵器禁止条約ができたことです。この二つをプラハ演説の延長線上で読み解くこともできます。

被爆者団体は「核兵器廃絶につながるツールを私たち自身が手にした。核大国のトップが誰でも、揺るがぬ姿勢で前に進む」と決意を新たに、「オバマ氏は現職時より自由な立場でわれわれと歩んでほしい」と求めています。前向きに、着実に。われわれ市民が大国を動かし、核兵器の廃絶を一刻も早く実現しなくてはなりません。

関連記事は次のアドレスで読めます。

○「考 from ヒロシマ」核なき世界 理想遠く オバマ氏のプラハ演説から 10 年

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=90071>

○豪雨影響 入館 9.4%減 原爆資料館 18 年度 本館再開待ちも

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=90262>

○核軍縮 20 カ国評価下げる 「ひろしまレポート」18 年採点 禁止条約 乏しい進展

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=90240>

○被爆前の広島映像公開 34 年ごろ 原爆資料館HP 市民の日常を記録

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=90146>

○核軍縮進展へ提言目指す 賢人会議 京都で開幕

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=90060>

○被爆の惨状伝える新空間 広島原爆資料館 来月 25 日再開館

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=90029>

=====
■平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています
=====

平和首長会議事務局では、自治体、学校、NGO 等、様々な実施主体による平和教育の取組事例を「平和首長会議ニュース」やウェブサイトで紹介することにより、そうした活動の広がりを促進していくため、各加盟都市において実施されている平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています。

これまでにお寄せいただいた取組事例をウェブサイトに掲載しています。他都市の事例を参考にして、より多くの都市に平和教育の取組を広げていただければ幸いです。

▼平和を希求する心を育てる取組の好事例の紹介コーナー(平和首長会議ウェブサイト)(3月12日更新):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort.html#section10>

また、事例募集は引き続き行っておりますので、随時情報提供をお願いいたします。いただいた取組事例は随時ウェブサイトでご紹介する予定です。

▼書類提出・問い合わせ先:

Email: rentai@pcf.city.hiroshima.jp

=====
■平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組の実施にご協力ください
=====

2017 年 8 月に長崎市で開催された第 9 回平和首長会議総会において、「平和首長会議行動計画(2017 年-2020 年)」が策定されました。この行動計画に掲げられた、世界恒久平和の実現に向けた国際世論を醸成・拡大するための取組の推進にご協力ください。

▼「平和首長会議行動計画(2017 年-2020 年)」(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/report/meeting/data/9th_meeting/Action_Plan_2017-2020_J.pdf

【取組事例】



=====
■被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
 =====

平和首長会議では、第9回総会において策定された行動計画に沿った取組として、被爆樹木二世の苗木の配付を行っています。小・中学校の平和学習での活用や公共施設の改修にあわせた記念植樹など、平和のシンボルである被爆樹木二世の育成を通じて、市民の平和意識の醸成に取り組んでいただきますよう、ご検討をお願いします。

被爆樹木二世の苗木の配付を希望される場合、所定の申請書をEメール又はFAXにて事務局までお送りください。

※現在被爆クスノキ二世の苗木の在庫が不足しているため、当分の間アオギリの苗木のみの配付となります。

※この事業は、通年で行っているため特に申請期限はありません。また、来年度以降も継続して実施しますので、来年度以降の苗木の受け入れについても、是非ご検討いただければ幸いです。

▼Email: rentai@pcf.city.hiroshima.jp

▼FAX: 082-242-7452

▼被爆樹木二世の苗木の配付申請書、事業紹介パンフレット印刷用データ等のダウンロード(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort.html#section04>



=====
■「ヒバクシャ国際署名」への平和首長会議の賛同・協力について
 =====

平和首長会議では、第9回総会において策定された行動計画に基づき、「幅広い層の市民の平和意識の啓発」を目的として『ヒバクシャ国際署名』と連携した『核兵器禁止条約』の早期締結を求める署名活動を展開しています。

平和首長会議に寄せられた『核兵器禁止条約』の早期締結を求める署名と、「ヒバクシャ国際署名」で集められた署名を共に国連関係者に提出することとしています。

▼ヒバクシャ国際署名ウェブサイト:



=====
■3月の平和首長会議会長訪問
=====

松井一寛広島市長・平和首長会議会長は、先月次のような海外からの来訪者をお迎えしました。その際に平和首長会議の取組及び加盟要請への協力をお願いしました。

* 3月1日(金) イラク共和国国民議会議員等一行

* 3月29日(金) サイド・バドル・ビン・サ우드・ビン・ハーリブ・アル・ブサイディ オマーン国国防担当大臣

=====
■平和首長会議加盟自治体数: 163 か国・地域 7,744 自治体
=====

4月1日付で、14自治体が加盟し、加盟自治体数は7,744(163か国・地域)となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

ネパールから、メラムチ市が加盟しました。同市の姉妹都市であるイタリアのロヴェレート市の呼び掛けにより今回の加盟が実現しました。

また、副会長都市でありドイツにおけるリーダー都市であるハノーバー市の呼び掛けにより、12自治体が加盟しました。この他、イタリアからモンテレーネ・サビーノ市が加盟しました。

引き続き未加盟の近隣自治体や姉妹都市への働き掛けなど、皆様のご協力をよろしくお願いします。

▼4月1日付新規加盟自治体一覧(PDF)

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/03_newmembers/2019/newmembers1904_jp.pdf

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/map.html>

本メールニュースに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5

(公財)広島平和文化センター 平和首長会議・2020ビジョン推進課

TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp